

「最近の若い者は・・・」

岡山県 西来寺 住職 松永俊彦

修行を終えたばかりの、若い僧侶と話しました。彼は素直で実直な人柄、ボランティアにも積極的に参加しています。しかし先日、先輩から言われた「最近の若い者は・・・」という一言が、気持ちのどこかに引っかかっているようでした。

確かにスマホなどの登場によって、コミュニケーションのとり方も昔と変わってきています。若者に対して「何を考えているのか分からない」と感じる人もあるかもしれませんが、しかし彼は「そのような印象だけで、人を判断するのは如何なものでしょう」と言うのです。

彼は自分のお寺で高校生の「坐禅指導」を受け持っていますが、生徒達に説明をしても、反応は余りよくありません。また、坐禅の後に生徒と一緒にお茶を飲みますが、俯きがちで会話になりません。

ある日、引率の先生が会話の流れで「最近の若い子は・・・」と言

かけた時です。すかさず彼は「最近の若い子は素晴らしいです」と言ったそうです。高校生達は、一斉に彼を驚いた顔で見ました。それ以来、生徒達は彼と会話を交わすようになり、この前は自発的に集まって本堂の掃除をしてくれたということでした。

仏教には「愛語」という教えがあります。愛を語ると書く「愛語」は、親愛の心を起こさせる言葉です。彼も否定の言葉から入るのではなく、相手を肯定するコミュニケーションを心掛けるようになってから、多くの若い人達と交流を持てるようになったそうです。

彼は「いずれ住職となり、経験を積んだ後も『最近の若い者は・・・』などと否定するようなことはせず、『愛語』で人と接したいです」と笑顔で語っていました。

(令和二年八月放送)